

質疑応答の概要（北越谷地区）

【道路計画に関すること】

Q：右岸の土手の広いところの土を左岸に移せば水は流れる。桜並木はもう傷んでいるから、土手を利用すべき。そうすれば立ち退きが必要ではなくなるので、もう少し考えてほしい。

A：河川の中に道路をつくるのは難しい状況です。実際の道路範囲や河川の流下能力の阻害等について今後検討してまいります。

Q：出津橋の土手から25mが道路範囲なのか。川にはかからないのか。

A：道路の位置については、今後測量をして検討してまいります。

Q：元荒川右岸ルートは地区内道路と接続が難しいとあるが、出津橋を改修してできないのか。大間野南荻島線と接続しなければならない根拠は。

都市計画道路は無電柱化を検討しているのか。

建築基準法上の用途地域が変わる部分が出てくるのか。

A：出津橋は越谷市の管理ですが、接続や車の通行などについて皆さんと検討してまいります。

大間野南荻島線等の北越谷地区内の行きどまりの道路等を解消する必要があり、基本的に都市計画道路はネットワークを構築する必要があります。

無電柱化や用途地域については、確認して回答いたします。

Q：ほとんどが通過交通と思われるので、地区内で接続道路がなくてもよい。

高架にすれば幅も狭く歩道も要らなくなる。高架案も川を跨いだ構造にできるのではないか。

A：北越谷地区内の道路を浦和野田線に接続することにより、地区内での渋滞緩和、交通安全性の向上、交通の円滑化、災害時の避難路、物資供給路として効果があると考えております。

橋梁案を門形にすると費用が高くなる懸念がありますが、今後検討してまいります。

Q：左岸ルートにするにしても道路の高さを今後検討することだが、治水面や防災面から堤防と一体化するスーパー堤防の考え方で進めてほしい。

A：今後の測量結果をもとに案を検討してまいります。

Q：計画交通量2万4千台/日は過大ではないか。

実際の交通量を把握し、必要な道路幅の計画に見直してほしい。

A：現在の交通量について、調査を検討してまいります。

計画交通量2万4千台/日は、平成17年の交通量調査をもとにした推計結果です。

平成27年にも交通量調査をしており、新たな推計結果も提示するよう検討してまいります。

Q：北越谷小学校の裏に橋をかけて文教大学のほうに渡り、スカイツリーラインに向かって渡るルートができるのでは。橋のつくりようによっては非常に魅力的な景観もつくれると思う。予算は別にして検討してほしい。

将来に向かって越谷に新しい景観をつくるという考え方もできる。

騒音対策について、スピード制限で対応すれば少々ジグザグな道になってもできると思う。

A：今後、検討してまいります。

Q：右岸ルートと左岸ルート、両方混在したルートがあってもいいのでは。

A：今後、検討してまいります。

Q：北越谷は住宅地としては最高の土地。今回の道路は北越谷には何の利便性もない。

移転をされる方に対して、同じこの静かな北越谷で宅地を確保することは不可能だと思う。

トンネル案がよい。今の左岸ルートでは賛成できない。

A：今後、検討してまいります。

Q：買収を簡単に考えている気がする。

地区内道路と接続ができないトンネルか、橋梁案を考えていただきたい。

A：今後、検討してまいります。

Q：この道路はないのが一番いいが、最低限度の提案をしたい。

25mの必要性はない。16mの高架橋とし、その下を遊歩道と公園にすれば歩道は必要なくなり9m狭くなる。

高架とし防音壁をつくれれば音は出ない。多少お金はかかるが考えていただきたい。

A：参考になる御意見をいただいたので検討してまいります。

Q：土手を歩く人や自転車も少ないので、歩道が2つあって遊歩道があるのは無駄である。

遊歩道の利用等も考えてほしい。

A：堤防の遊歩道活用の検討も考えます。

まず測量して案をつくり、ご意見を聞きながら進めてまいります。

Q：朝夜に人と自転車の量が多い。歩道幅4.5mは安全に子供たちやお年寄りがしっかり行き来できる。車だけではなく、人と自転車のことも考えてもらいたい。

A：ご意見を踏まえて検討してまいります。

Q：ルートの比較で北越谷地区内の接続がいいことと整理されているが、決めつけでは、接続は北越谷以外の地域にメリットがあると思う。

調査を十分にやって整理していただきたい。

変更ルートの中で、具体的にどこに交差点をつくるのか。

小学生や高齢の方が多く通るところで、幹線道路からの脇道は影響が大きい。

A：北越谷地区の接続の道路については、調査やヒアリングも検討してまいります。

接続道路は、都市計画道路大間野南荻島線の交差を予定しており、その他の接続はまだ決定ではありません。

【周辺環境に関すること】

Q：このルートの中に神社があるが、そこはどうするのか。

A：神社と個別に交渉してまいります。

Q：三丁目、四丁目の環境が全く変わってしまう。騒音、排気ガス、流入車両や接続道路による事故が増える。立ち退きも大変。立ち退かなくても騒音やこの環境の中では住めない。

トンネルしかないと思う。簡単に困難だからと言わないで考えていただきたい。

A：今後、検討してまいります。

Q：今、堤防をかさ上げしている工事は、この計画に影響しないのか。

A：元荒川の堤防の工事は浦和野田線とは直接関係ませんが、確認いたします。

【事業計画に関すること】

Q：そもそも62年に決まったときに、北越谷地区は区画整理済みだから通さないと聞いた。

北越谷のまちづくりの中で、25mのバイパス道路のメリットは何か。

高齢者は渡り切れない。元荒川を渡って、さらに25m幅を渡るとは大変なこと。

道路の公共性はわかるが、立ち退きがたくさんあり、相入れない計画である。

元荒川は越谷で星が一番きれいに見え、カモが数種類越冬に来る自然遺産である。

地下方式は不可能とあるが、子々孫々にこの美しい越谷を残すために数百億円かかろうとも、現在の生活環境と自然環境を守る方法を考えてもらいたい。

早く測量して話し合いの場を設けてほしいが、具体的な予定を教えてください。

A：今後検討し、計画を示してまいります。北越谷のまちづくりについても越谷市と検討いたします。

Q：敷地にかかった場合、敷地全体を立ち退きないし補償になるのか、もしくは計画に該当する土地のみが補償ないし立ち退きになるか。立ち退きに対し法律的な義務があるのか。

A：用地取得は計画にかかる範囲が基本ですが、残地補償については個別に協議いたします。

浦和野田線は都市計画法による都市計画決定されている道路であり、事業認可を国から受けて事業を進めてまいります。土地収用法が適用される場合もあります。

Q：5月の説明会で聞いて本当に要らない計画だと思った。

環境も破壊するし、交通を増やすような地域ではない。

一度立ちどまって中止も考えてほしい。そのお金を介護や子供のことや治安に回すべき。

A：5月に説明が不十分だったことについて、今回少し説明をさせていただきました。

皆様の意見を今後も何度もこのような場を設けて話を聞きながら進めさせていただければ
と思っております。

Q：計画は反対。反対の立場の意見は誰に話をすればよいのか。

A：反対の御意見につきましても、説明会でも、個別で私どもにでもお伝えいただけます。

【合意形成に関すること】

Q：前回5月の説明会のとき、年内に測量と聞いたが、予定は変わったのか。

環境問題、立ち退きは大変重い問題であり、犠牲が一人もないような計画にしてほしい。

平成30年度に現地調査や測量ということだが、個人の敷地内へ立ち入るのか。ホームページや回覧で情報提供してほしい。

A：台風で説明会が何回か延期、中止になり、ようやく測量業者が決まりました。

この説明会後に測量する予定で、自治会長を通じながら決めてまいります。

Q：次回の説明会はいつごろを予定しているか。

A：測量後に検討を進めるため、来年5月頃を予定しております。

Q：今日の話で、県は必ず意見を伺い、質問等にも答え、反映させる道づくりを考えていると解釈できる。地域の意見集約が市民力として求められている。合意形成をどうするかは、皆さんが力を結集してこの地域を守りたいという熱量が必要。

道路問題連絡協議会は存続しており、北越谷のまちづくりに大きく関係しているので、北越谷地区と南荻島地区両方の住人が意見をまとめていただければと思う。

A：意見交換し、進めてまいります。

Q：現地調査と測量はルートも確定してないのに、どういう前提でやるのか。

右岸、左岸の真ん中を通していくとか、地下も全部含めた形の測量になるのか。

A：まず、建物と周りの状況、高さを把握するための測量をしたいと考えております。

Q：どのように合意をとっていくのか。関係機関協議の関係機関とは何か。

インターネットで収集した意見に回答すると言っていないし、説明会の後に回答されるのが懸念している。

A：今回の区間はいろいろな自治会や地区があり、各意見を集めていく考えであります。

具体的な方法については、これからも検討してまいります。

関係機関協議とは、警察や河川管理者等です。

Q：ホームページで5月の説明会の情報がある程度見たが、今回の説明会の告知はなかった。不特定多数の人が来ると混乱するかもしれないが、事務所のホームページに載せるとか、広報「こしがや」で告知する方法もできるのでは。

A：今回の説明会は北越谷地区の連合会長や自治会長から皆様への回覧と、「北越谷だより」に掲載しています。今は埼玉県ホームページに結果だけを載せている状況です。今後、開催の告知についても検討してまいります。

Q：検討しますと引き取られた質問は、どのような形でいつ回答されるのか。

忘れたころでは合意形成は難しいので、スピード感を持ってほしい。

ホームページに対する質問も、回答があるのか聞き置くだけなのか。

A：色々な意見があると思いますので、地元の自治会と協議をしながら、開催場所等を決め、できる限り早くスピード感を持って回答してまいります。

インターネットホームページでも、回答を載せる方法も含め、合意形成方法を検討してまいります。

【周辺道路に関すること】

Q：神明橋の渋滞について右折レーンを設けても渋滞の解消にならないという説明があったが、右折禁止にしてはどうか。4号で右折をしてもらうか、別のルートで行くようにすればよい。

A：神明橋の交差点について交通量調査と渋滞長調査をしており、今後どのような対策をすれば渋滞が解消できるか検討してまいります。

Q：大間野南荻島線は大間野までつながるのか。

A：元荒川を渡って南側は都市計画の位置づけはあるものの、事業化は決定しておりません。

Q：神明橋の交通渋滞解消はどのように考えているのか。

A：神明橋の渋滞は承知しており、交通量調査をしています。その結果も踏まえて今後神明橋についての対策検討を考えてまいります。